

命口説（ぬちくどうち）

本調子



命口説（ぬちくどうち）

本調子

一、1 行じやる戦争（いくさ）や 覚
出ちん

見ぬ毛立ちさみ 恐ろしや
此の世ぬ地獄や ありどうやる

2 日ぬ丸揚ぎとてい 竹やり
命や預けてい 国ぬ為

エイヤエイヤとう 勤みたん

3 君に忠孝 信じとうてい
島人諸人 命身かき

護てい護たる 事やし

4 艦砲射撃 雨あられ
あたらしり島 散々に

火の海火の山 なちねらん

三、9 戦争（いくさ）起くちやし 何
ぬ為か

戦争（いくさ）始みた 誰やゆ

が 神ぬ仕業か 人故か

10 戦争世しぬぐ 平和（みるく

）世ん 迎えるさみとう思ば ありく

りとう 国ぬユサユサ 果ていや無ら

ん 幾年月日 経るたどてい

11 ウチナー御万人 あぬ戦争工

イ 子や孫に語らとうてい

何時まで忘んな 命口説

二、5 命ただ一ち ひさぎやい

島尻中頭 国頭とう
過ぎてい過ぎたし 忘ららん

6 海山川ぬ 形までい

変わい果ていたる 我がウチナ

1 如何し呉みせか 神仏

あぬ洞窟此ぬ洞窟 隠りとてい
命やようよう もうきていん

7 親、兄弟、子、孫や 散りじり

8 如何に物言わん 草木やていん

命あるたみし 焼かりりば
アキヨくとう 泣かなうちゆみ